

■ 仕様・サイズ

品番 : 1843034	品番 : 1843036
品名 : トウエイン	品名 : ニルヴァーナ セルフペイラー
定員 : 1~2人	定員 : 1人
最大積載量 : 272kg	最大積載量 : 136kg
本体サイズ : 全長 310cm 最大幅94cm	本体サイズ : 全長 229cm 最大幅94cm
本体重量 : 6.2kg	本体重量 : 4.2kg
最大圧力 : 1.5psi	最大圧力 : 1.5psi
仕様 : 3気室	仕様 : 2気室
主素材 : 側壁部 210デニール・ナイロン、 底部 840デニール・ナイロン	主素材 : 側壁部 210デニール・ナイロン、 底部 840デニール・ナイロン

品番 : 1843037	品番 : 1843038
品名 : ローグ	品名 : ローグライト
定員 : 1人	定員 : 1人
最大積載量 : 136kg	最大積載量 : 136kg
本体サイズ : 全長 229cm 最大幅94cm	本体サイズ : 全長 229cm 最大幅94cm
本体重量 : 3.3kg	本体重量 : 2.4kg
最大圧力 : 1.5psi	最大圧力 : 1.5psi
仕様 : 1気室	仕様 : 1気室
主素材 : 側壁部 210デニール・ナイロン、 底部 210デニール・ナイロン	主素材 : 側壁部 210デニール・ナイロン、 底部 210デニール・ナイロン

■ 同梱品

品番	1843034	1843036	1843037	1843038
品名	トウエイン	ニルヴァーナ セルフペイラー	ローグ	ローグライト
本体	1コ	1コ	1コ	1コ
シート	2コ	-	1コ	1コ
シートバック	2コ	1コ	1コ	-
ポンプバッグ	1コ	1コ	1コ	1コ
コンプレッションストラップ	4コ	2コ	2コ	2コ
フロア	-	1コ	-	-
リペアパッチセット	1コ	1コ	1コ	1コ
インフレーションチューブ	1コ	1コ	1コ	1コ
フィン	1コ	-	-	-
コーミング用チューブ	-	-	1コ	-



ポンプバッグ



コンプレッション
ストラップ



リペアパッチ
セット



インフレーション
チューブ



フィン



コーミング用
チューブ

■ その他

※写真と現物は異なることがあります。各カヤックによって同梱品は異なります。

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 Tel. 06-6531-3544 フリーコール : ☎ 0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで モンベルホームページ <http://www.montbell.jp>



KOKOPELLI
PACKRAFT

共通取扱説明書

ココペリ パックラフト

KOKOPELLI Packraft

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

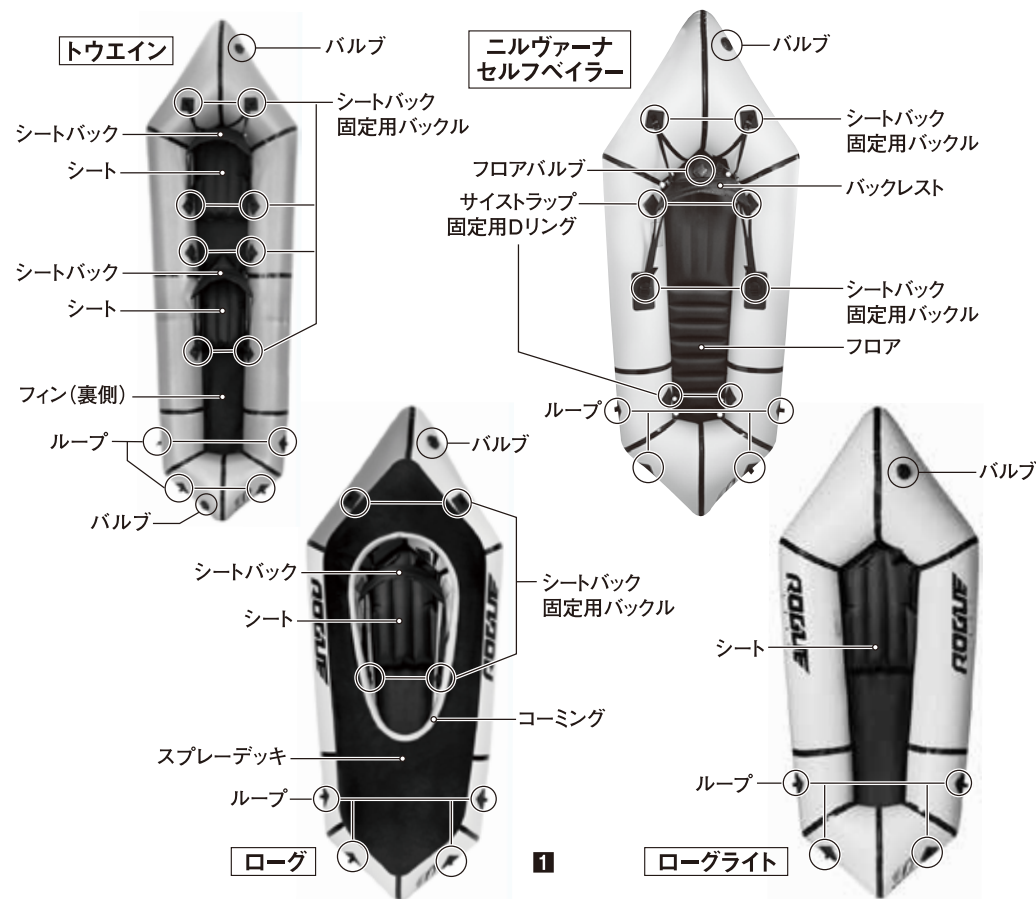
ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものです。安全な条件のもとで十分な練習を行い、正しい使用方法を習得してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

穏やかな川や湖でのアクティビティに適した、非常に軽量で取り扱いの容易なツーリングカヤックです。

■ 各部の名称



ローグ

1

ローグライト

■ 安全上の注意 必ずお読みください

保護者の方へ

- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるようにご説明ください。
- 本製品は適合体重が設定されていますが、適合範囲内でも操作のできないお子さまは絶対に使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- カヌーは場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。本製品またはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、本製品を使用する前には必ず本説明書を熟読し、その指示に従ってください。
- 本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。
- 本製品は、鋭利な岩に当たり本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。
- 風が強いときや波が高いときは使用しないでください。
- 沿岸では潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っている本製品の特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 必ず、ライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。
- 救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携帯してください。
- 水かさが増している時のような悪条件下では本製品を使用しないでください。
- 自分の能力以上の行動は謹んでください。
- スプレースカート(ローグのみ)は必ず使用する前に流れの無い穏やかなところでカヤックからの沈脱の練習をして、確実に沈脱できるようにしてください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 空気が漏れている状態では絶対に使用しないでください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 本製品を使用する際は、岩などがあるところではウォータースポーツ用ヘルメット、グローブ、ウォーターシューズなどの保護するものを着用してください。着用しない場合、傷害を負う恐れがあります。
- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだと傷害を負ったり、事故の恐れがあります。
- 本製品は穏やかに流れている場所で使用できますが、流れが急な場所では使用しないでください。
- 水深の浅い場所では使用しないでください。
- 本製品はレジャー用です。救命ボートとしては使用しないでください。
- 泳げない方は絶対に使用しないでください。
- しけの場合は、水流や渦の発生、障害物などの危険性が加わります。また、行ったことのないエリアでは必ず経験豊富なガイドと一緒に行動してください。

- 本製品の最大積載量を超えて使用しないでください。本来の性能を発揮できない恐れがあります。
- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけでの使用は絶対におやめください。
- 本製品は水上で使用する目的で作られています。その他の目的（雪上など）では使用しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は定員を守って使用してください。定員以上で乗ると傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品は安全が確保された場所で使用してください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の改造はしないでください。乗艇・脱艇の妨げになる様な改造・艀装・積載をさけてください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品を使用する前に本製品に合わせた講習を受けてください。
- 一人でカヌーを行わないでください。
- 水温・気温が低い場合は天候に合わせた服装をしてください。身体を濡らしたまま放置した場合、危険な低体温症になる恐れがあります。
- 毎回使用前に本製品を点検し、摩耗や破損の予兆がない事を確認してください。
- 見知らぬ場所、不確かな場合は事前に調査してください。
- 健康に問題のある方は、本製品の使用を始める前に医師にご相談ください。
- 本製品に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。一般的に、静水時にデッキが水没する程積載するのは危険ですのでおやめください。
- 本製品の下で泳がないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品から水中にジャンプしたり飛び込んだりしないでください。傷害を負ったり、事故、破損の恐れがあります。
- 本製品の所有者は本説明書をよく読み、全ての使用者に対して本製品の安全な操作方法について責任を持って指示してください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 標高の高い場所に移動する前に空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 本製品の適正圧力以上に空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 空気を入れる際は付属のポンプバッグ、インフレーションチューブを使用してください。絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ボンベ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。破損の恐れがあります。
- 陸上では直射日光や火などの熱に近づけないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 陸上で使用しない時は、少し空気を抜くか、日陰に置いてください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- ナイフ、岩などの鋭利なものや、40℃以上の熱に接触させないでください。破損の恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- メーカーの供給するオプションや部品以外は取り付けしないでください。
- 常に修理用キットを携帯してください。
- ニルヴァーナセルフペイラーは、艇に入った水を自動的に排水をする孔(セルフペイラー)がサイドチューブとフロアの間空いています。この仕組みは、艇本体の浮力を利用したものです。搭乗者や荷物の荷重によっては座面の一部が常に水が浸った状態になります。

■ 使用前の点検

使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。
異常が見られた場合は使用しないでください。

- 本体や付属のポンプバッグ、シートに傷や破れがないか バルブは機能するか

■ 使用方法

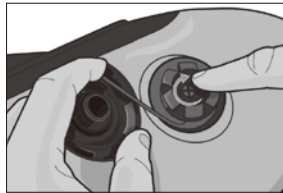
組み立て方法 (モデルにより各パーツの形状は異なります)

○ 同梱品の確認

パッケージの中に同梱品が正しく入っているか確認してください。不足があった場合は販売店もしくは弊社カスタマーサービスにお問い合わせください(P.1の各部の名称参照)。

○ 空気の入力方(艇本体)

- ①バルブキャップを取り外し、バルブの中央を押し込みながら、時計回りに4分の1程度(90度)回し、弁を開放状態にします。



- ②ポンプバッグのバルブを本製品のバルブに挿入し、時計回りに回して固定します。



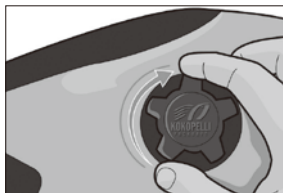
- ③ポンプバッグの2箇所の手柄を持ちながら、上下に揺らしてバッグの内部に空気を溜めます。空気が入ったらハンドルを合わせて、ポンプバッグを巻き込みながら艇本体に空気を入れます。艇本体が膨らむまで、この動作を繰り返します。



- ④ある程度空気が入ったらポンプバッグをバルブから取り外し、すぐにバルブの中央を押し込みながら、反時計回りに4分の1程度(90度)回して弁を閉じます。



- ⑤残りの空気は、インフレーションチューブをバルブに差し込み、口で吹き込みます。可能な限り空気を入れてください。口で吹き込む場合は空気圧が上がり過ぎることはありません。ポンプを使う場合は1.5psiまで入れてください。それ以上の空気は絶対に入れないでください。



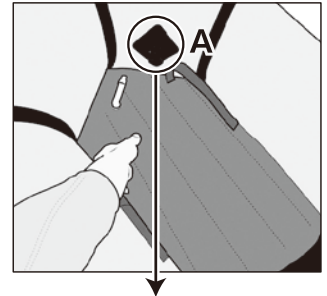
- ⑥バルブキャップを時計回りに回して取り付けます。

○ シートの取り付け

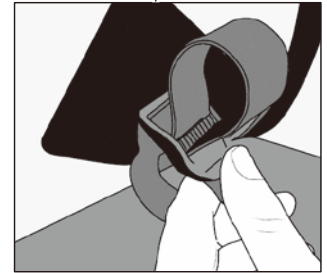
- ①シートについているバルブを反時計回り(左)に回して開けます。口で空気を入れて膨らませ、ノズルを時計回り(右)に回してバルブを閉じます。



- ②シートを艇本体の底部に差し込みます。シート座面に取り付けられているストラップを艇本体の右図Aに通します。



- ③シート前側のストラップをシート前方にある艇本体付属のバックルに通し、左右両側とも取り付けます。



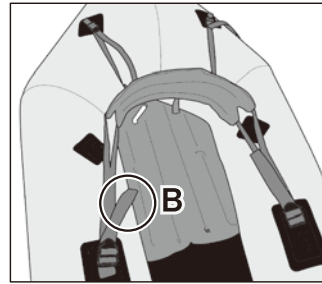
- ④シートバック背面のバックルと艇本体付属のバックルにコンプレッションストラップ(金属製のDリング付きテープ)を通し固定します。余ったテープはシートと本体背面の間に収納します。
※シートバックは背面のバックルが上側になる向きで固定してください。



- ⑤シートバックの左右のストラップを艇本体付属の左右のバックルに通し固定します。



- ⑥パドリングの際、足で踏ん張りが利くポジションになるようにバックバンド(右図B)を調節してください。



○デッキスプレースカート(別売)を取り付ける(ローグのみ)

- ①同梱の2本のチューブの末端を接続し輪にします。スプレーデッキのコーミングについている4本のベルクロを使って本体に取り付けます。

チューブ



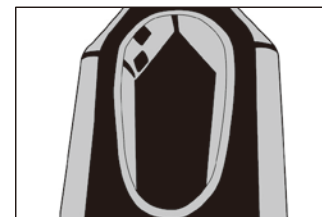
- ②取り付け後、チューブを覆うようにカバーを掛け、コックピットの周りを覆っていきます。



- ③3/4程覆ったら、生地やしわを取るためにチューブを押し込んでください。



- ④チューブがすべて覆われるように最後までカバーします。



- ⑤右図のように両腕と頭を通し、スプレースカートを着用します。適宜ストラップで調節してください。

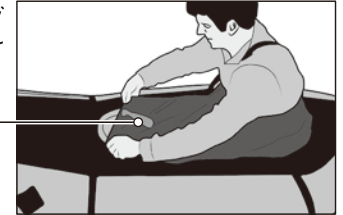


- ⑥コーミング後部の縁に、スプレースカートを巻き込みます。



- ⑦続けて、スプレースカートの先端に取り付けられているグラブリングが出るようにしてコーミングを覆うように前側も取り付けます。胸のショックコードを絞り、浸水を防ぎます。

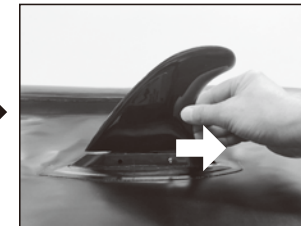
グラブリング



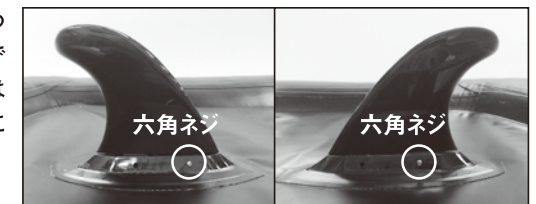
警告 必ずスプレースカート先端のグラブリングを外に出してください。

○フィンの取り付け(トウエインのみ)

- ①艇本体を裏返し、後部にあるフィン取り付け台座にフィンを押し込みます。
②そのまま後部へスライドさせます。
③カチッと音がしてロックが掛かります。



- ④必ず、フィン取り付け台座の左右面にある2つの六角ネジを3/32インチのレンチ(別売)で締めてください。この時、ネジを締める場所はフィンを挟んで対角線(右側前と左側後ろ)になるようにしてください。

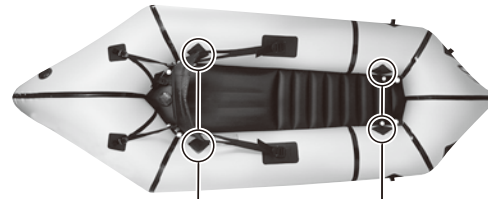


右側

左側

○サイストラップ(別売)の取り付け方法 (ニルヴァーナセルフペイラーのみ)

①サイストラップをカヤックの前後にあるサイストラップ固定用Dリング(右写真参照)に固定します。

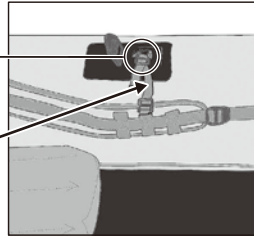


サイストラップ固定用Dリング

②短いストラップをシートバック固定用バックルの前方にあるDリングに取り付けます。

シートバック固定用バックル

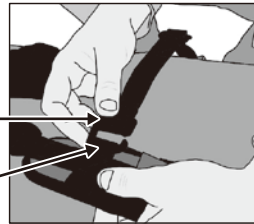
短いストラップ



③短いストラップのフックをサイストラップに付いているパッドのループに引っ掛けます。

短いストラップのフック

サイストラップの
パッドのループ



④足が固定されるように必要に応じて締め具合、前後位置を調節してください。

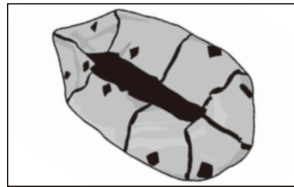
※緊急時にすぐに足が抜けるように締め過ぎに注意してください。



○収納方法

収納作業を行う場合は必ず保護するシートの上やその他のきれいな場所で行ってください。岩や砂などのある場所で作業をすると、製品が損傷する恐れがあります。

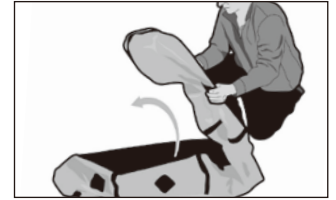
①フロア、インフレーターシートの空気を抜きます。次に艇本体のバルブを開けて、バルブ中央を押し込みながら、時計回りに4分の1程度(90度)回し、空気を完全に抜きます。この際、カヤックを折りたたむ前に本体に取り付けた付属品を外します。
※付属品を取り付けたまま収納すると製品が破損する恐れがあります。



②艇本体を縦半分に折りたたみ、縦長の状態にします。



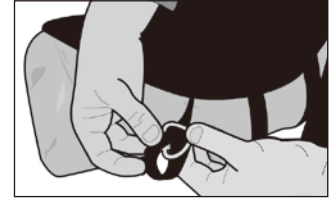
③さらに横半分に折りたたみます。



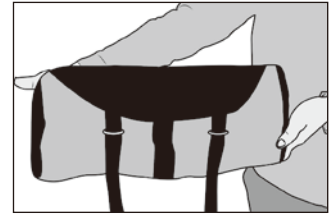
④折りたたんだ中央から、バルブの開口部に向かって巻きながら空気を抜いていきます。



⑤付属のコンプレッションストラップを巻き、先端を2個の金属製Dリングの両方に通します。先端を折り返す際、片方のみに通すことでストラップを締めした後、緩みにくなります。



⑥きつく閉めすぎたり、金属のクリップに生地が挟まったりしないようにして、しっかりとストラップを固定します。移動の際は保護用の袋(別売)に入れて運んでください。



⚠ 注意

- 空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
- 空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト(破裂)することがあります。
- インフレーターの本製品は、時間の経過や温度変化により徐々に空気が抜けることがあるため、空気圧が適切であることを使用前に必ず確認してください。必要に応じて空気を抜き入れます。
- 適正空気圧は1.3～1.5psiです。適正圧を超えないでください。
- 長時間陸地に置く際は、必ず艇本体の空気を抜いてください。太陽光により内部の空気が膨張します。
- バルブ内に砂やゴミがある場合は取り除いてから空気を入れてください。
- バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水や砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。
- バルブ本体が閉まっているか必ず確認してください。空気圧が高まると、バルブが損傷したり、艇本体が破裂する恐れがあります。

■ 生地の修理方法 ※付属のリペアパッチ以外の修理用品はお客様までご用意ください。

作業スペースと修理道具

○清潔で乾燥しており、換気の良い所で修理してください。接着剤の適切な硬化を促すため、気温が10度以上になるようにしてください。なお、本製品を膨らませて置けるだけの十分なスペースが必要となります。

○修理の際に必要なもの(修理内容により異なります。)

リペアパッチ(同梱品)、ウレタン系接着剤、よく切れるはさみかナイフ、食器洗い用洗剤、水、小さめのボウルかスプレーボトル、やすり#120、消毒用アルコール、ペン、小さいブラシか使い捨てのペイント用ブラシ、きれいで乾燥した布

漏れの見つけ方

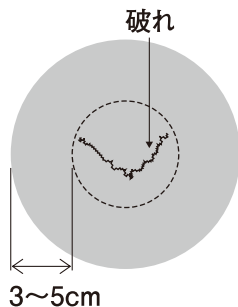
- ①空気が漏れる場合、漏れている箇所を確認します。
- ②艇本体を膨らませます。小さな漏れは空気圧が低いと発見しにくいので、漏れを発見するためには定期的に空気を入れて圧力を維持します。
- ③食器洗い用洗剤を溶かしたせっけん水(洗剤50%、水50%)を用意します。せっけん水を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる箇所を見つけ漏れている場所を確認します。
- ④空気が漏れる箇所を特定できたら、その箇所のせっけん水を取り除き、十分乾かして、印を付けます。

リペアパッチの貼り方

重要:穴あきの補修は完全に空気を抜いた状態で行い、パッチを貼った後は24時間以上放置して接着剤を完全に硬化させてください。

※接着剤の取扱いは接着剤に付属の説明書をお読みください。

- ①補修の前に完全に艇本体の空気を抜きます。
- ②リペアパッチの中から、補修する箇所と同じ材質のパッチを選んで使います。よく切れるはさみかナイフを使用し、リペアパッチを補修する箇所に合うサイズに切ります。
 - a.リペアパッチのサイズは、補修する穴のサイズから全方向に3~5cm大きく切ってください。ピンホールの場合、リペアパッチのサイズは5cm×5cmにしてください。リペアパッチのサイズが大きいほどしっかり補修ができます。
 - b.剥がれにくくするため、なるべくリペアパッチの角は丸く切ってください。
- ③リペアパッチのサイズが適切かどうか、接着剤を塗る前に補修箇所に置いて確認してください。
- ④きれいなやすり#120を使い、補修する箇所の表面とリペアパッチの裏側(接着面)にやすりをかけます。
- ⑤消毒用アルコールときれいな布でやすりをかけた場所を拭き取り、ゴミを取り除きます。
- ⑥もう一度接着剤を塗る前にリペアパッチを補修箇所に当て、ペンでリペアパッチを貼る箇所に印を付けます。
- ⑦接着剤を塗布します。必要に応じて使い捨ての小さなブラシ等で塗り伸ばします。丁寧に、かつ素早く作業をしてください。(※以下は一例です。ご使用される接着剤の取扱説明に従ってください。)



- a.使い捨てのブラシを使い、あらかじめペンで印を付けた補修箇所全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。印を付けた箇所からはみ出さないように注意します。
- b.使い捨てのブラシを使い、リペアパッチの裏面全体に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。
- c.約3分間、接着剤を硬化させます。
- d.3分経ったら、もう一度ペンで印を付けた補修箇所とリペアパッチの裏面に薄く均一に接着剤を塗り伸ばします。
- e.ペンで付けた印を目印にして端から注意深く補修箇所にリペアパッチを当てます。リペアパッチと補修箇所の接着面が重なると、すぐに接着剤の硬化が進むため、慎重に行ってください。
- f.端から注意深くパッチを貼り付け、しっかりと上から約5分間圧迫します。
- g.パッチ全体とパッチの角の部分を上からこすり、しっかりと圧迫します。
- h.空気を入れて使用する前に少なくとも24時間は放置し接着剤を完全に硬化させてください。

※リペアキットで対応できないほどの大きな破れなどの縫製修理は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

■ お手入れ方法 間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 海水や汚れた水中で使用した場合は、使用後にきれいな水でしっかり洗い流してください。
- 必要に応じて中性洗剤と真水で本体を洗い、しっかりすすいでください。強力な化学薬品を含む洗剤を使用すると本製品が損傷する恐れがあります。
- 本製品が完全に乾燥するまで十分な時間を置いてから収納してください。空気を入れた状態の方が早く乾燥します。
- 長期間太陽光にさらすと本製品が紫外線により劣化する恐れがあります。定期的に紫外線劣化予防剤を塗布することをお勧めします。

■ 保管方法

- 本製品が完全に乾燥するまで十分な時間を置いてから収納してください。
- 長期間保管する場合は、直射日光を避け、広げた状態で保管してください。
- 乾燥したきれいな場所に直射日光を避けて保管してください。コンクリートの上や湿度の高い場所には絶対に保管しないでください。4度以下になる場所にも保管しないでください。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお客様の自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お問い合わせいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
 - 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
 - 乱暴な取り扱いによるもの
 - その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
- 破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。